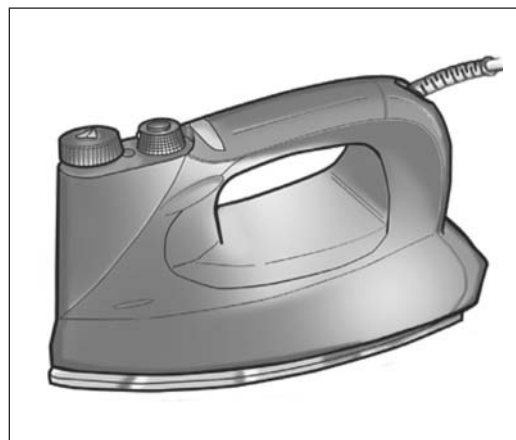


Ariete



アイロン

Numero Verde
800-809065

Ariete

De' Longhi Appliances Srl
Divisione Commerciale Ariete
Via San Quirico, 300
50013 Campi Bisenzio (FI)
E-Mail: info@ariete.net
Internet: www.ariete.net

CE EAC

6399/3

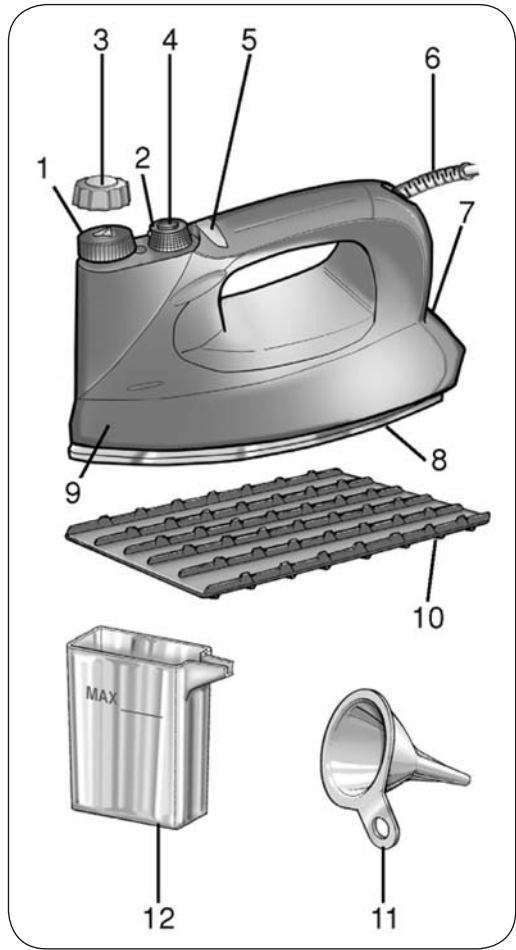


Fig. A



Fig. B

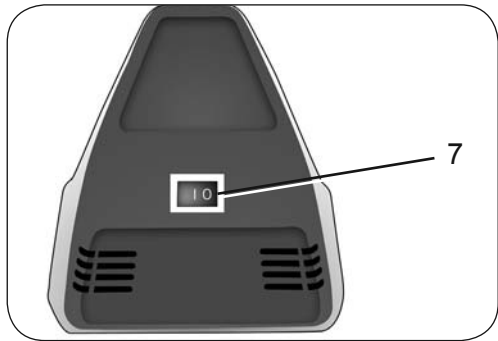


Fig. C

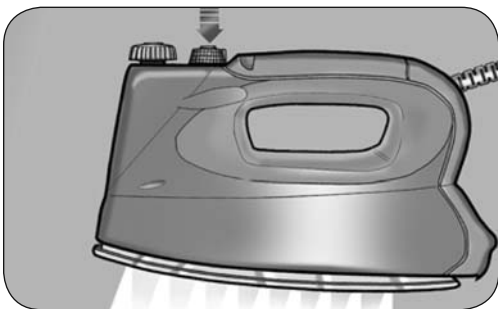


Fig. D

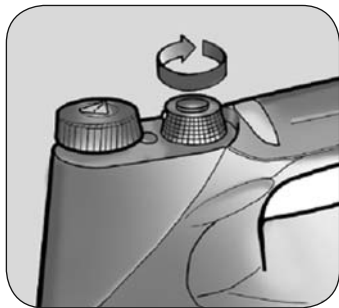


Fig. E

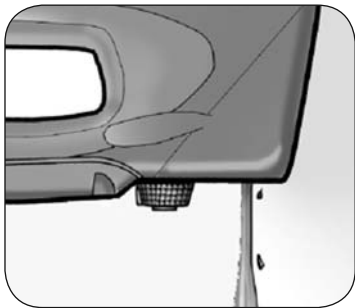


Fig. F

大切なご注意

ご使用の前に以下の注意事項をよくお読みください。

- ・本製品のご使用は8才以上の子供から可能です。身体・五感・精神的能力に問題のある使用者、または経験・知識の不足した使用者は、責任者の監督のもとで使用しなければなりません。あるいは、使用法を事前に学び、理解して、使用中の危険を理解した上で使用する必要があります。
- ・子供は本製品を使って遊んではいけません。
- ・この取り扱い説明書に記された清掃とメンテナンスは、大人の監督者がいない限り、子供にやらせてはいけません。
- ・アイロンが電源に接続されている場合、または使用後でまだ熱を持っている場合は、アイロンと電源コードを8才未満の子供の手の届かない場所に必ず保管してください。
- ・アイロンは必ず付属のアイロン置き（製品番号 5241921E8）と一緒に使用してください。
- ・身体・感覚・精神的能力のいずれかが不足する者（子供を含む）による本製品の使用は禁じられています。本製品の使用経験・知識がない者による使用は禁止されています。以上に該当する者による使用は、その安全を管理する責任者の慎重な監視をとまうか、事前に責任者による製品使用法の入念な指導が行われない限り、禁止されています。
- ・子供が本製品を使って遊ばないように注意してください。
- ・水やその他の液体に本製品を浸さないでください。
- ・給水は、コンセントから電源プラグを抜いた状態で行う必要があります。
- ・電源に接続されている間は、アイロンから目を離さないでください。
- ・アイロンのご使用および使用中断は安定した平面の上で行ってください。
- ・本製品を専用のベースに置く時は、ベースが安定した平面に置かれていることを確認してください。
- ・落下した製品や明らかな損傷がある製品、水漏れする製品は使用しないでください。一切の危険を避けるために、電源ケーブルの交換を含めたあらゆる修理は、弊社認可のサポートセンター、または、同等の資格をもった作業者のみが行うものとします。
- ・本製品は一般家庭での使用のみを前提に設計されています。工業用や業務用の使用は禁じられています。
- ・誤った使用方法、または、この取り扱い説明書に記された内容と異なった形でのご使用については、弊社は責任を負いません。
- ・ご購入時の梱包は保存されることをおすすめします。弊社認可のサポートセンターに製品をお送りいただく際、不適切な梱包による損傷は無償修理の対象外となります。
- ・本製品は2014/35/EU指令およびEMC指令2014/30/EUの定める基準を満たしています。
- ・梱包素材は事故の原因となる可能性がありますので、子供の手の届く場所に放置しないでください。
- ・本製品をゴミとして廃棄される場合は、あらかじめ電源コードを切断し、使用不可能な状態にしてください。さらに、ゴミとなった本製品を使って遊ぶ可能性のある子供の事故などをさけるため、危険をおよぼす可能性のある部分はあらかじめ無害な状態にしてから放棄してください。
- ・本製品を電源に接続する前に、パネルに表示された電圧がご使用現地の電圧と同じであることを確認してください。
- ・アースに接続されたコンセントを常に使用してください。
- ・手が濡れている時、裸足の時は、アイロンをかけないでください。
- ・ボイラーへの給水は、アイロンのスイッチを入れる前に行ってください。
- ・ボイラーへの給水は常に、付属のジョウゴ（11）および計量カップ（12）をご使用になってください。
- ・アイロンのスイッチは、使用準備ができている時のみ入れてください。
- ・本製品を初めてご使用の際、少量の煙が発生することがありますが、これは全く通常の現象ですのでご心配いりません。煙は、製品の一部に使用された少量の潤滑オイルによるもので、ご使用開始後しばらくすれば出なくなります。
- ・アイロンは水平な面の上でご使用ください。
- ・アイロンをかけ終わり、少しの間そばを離れる必要がある場合は、アイロンをベース（10）にセットした上で、コンセントから電源プラグを抜くことを忘れないでください。
- ・アイロンが必要温度に達する前にスチームボタンを押すと、スチーム孔から熱湯が噴出する場合があります。
- ・電源コードに損傷または焦げ付き等の異常が見られる場合には、製品を使用しないでください。

電源コードの修理交換を弊社認可のサポートセンター以外で行った場合、製品は保証の対象外となります。

- ・充填用／石灰質除去用／すすぎ用／点検用の各開口部は圧力がかかっているため、使用中には開かないでください。
- ・着用したままの衣類のアイロンがけは絶対に避けてください。
- ・ご使用中、または、スイッチを切ってから数分以内のアイロンの金属部分や熱湯、蒸気は、火傷の危険がありますので手を触れないでください。
- ・スチームを身体やペットに向けないでください。
- ・ご購入時の梱包は保存されることをおすすめします。弊社認可のサポートセンターに製品をお送りいただく際、不適切な梱包による損傷は無償修理の対象外となります。
- ・かけ面にシールや保護部品が付いている場合は、初めてご使用になる前にあらかじめ取外してください。
- ・ご使用の前には必ず電源コードを伸ばしてください。
- ・弊社不認可の延長コードは損傷と事故の原因となることがあります。
- ・どうしても延長コードが必要な場合は、10アンペア（ヨーロッパ）または15アンペア（アメリカ・日本）のコードをご使用下さい。これらの値未満のアンペア表示のある延長コードは、加熱の恐れがあります。延長コードは引っ張られたり、脚に引っかけることがないように形でセットしてください。
- ・炭酸ガスが添加された発泡水は使用しないでください。特別に石灰を多く含む水の場合は、ミネラルを除去した水のご使用をおすすめします。
- ・熱をもったアイロンを接続コードや電源コードの上に置かないでください。特に、熱をもったかけ面がコードに触れないようご注意ください。
- ・電源プラグをコンセントから抜く時は、コードをひっぱらないでください。
- ・アイロンの掃除は、コンセントから電源プラグを抜き、全体が熱を失った後で、軽く水を含んだ布（研磨用ではないもの）のみを使用して行ってください。プラスチック部分を傷つける溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・最低でも3ヶ月に1度、ボイラーの清掃を行ってください。アイロンの正常な機能の妨げとなる恐れのある石灰の残留物を除去するためです。
- ・酢や石灰除去剤、芳香剤をボイラーに注入しないでください。こうした行為があった場合、保証は無効となります。
- ・アイロンが熱を持っている時に、かけ面の周囲に電源コードを巻き付けしないでください。
- ・かけ面は他の金属面と接触させないでください。
- ・アイロンを良い状態に保つために、使用後は毎回、コンセントから電源プラグを抜き、スチームボタンを押し切って内部の圧力を完全に抜き、安全キャップを外して、ボイラー内部に残っている蒸気を蒸発させてから、ボイラーを空にしてください。
- ・アイロンを良い状態に保つために、使用後は毎回、コンセントから電源プラグを抜き、スチームボタンを押し切って内部の圧力を完全に抜き、安全キャップを外して、ボイラー内部に残っている蒸気を蒸発させてから、ボイラーを空にしてください。
- ・雨や直射日光などの大気現象に製品をさらさないでください。

・この取り扱い説明書は大切に保存してください。

注：本製品を初めてご使用の際は、まず、ご不用な布の上でお試しになり、かけ面に汚れないことをご確認下さい。

各部名称（図 FIG.A）

- 1 安全キャップ
- 2 スチーム調整ダイヤル
- 3 キャップ外し
- 4 スチームボタン
- 5 パイロットランプ
- 6 電源コード
- 7 電源スイッチ
- 8 かけ面
- 9 ボイラー
- 10 ベース（アイロン置き）
- 11 ジョウゴ
- 12 計量カップ

ボイラーの給水

- ボイラーに水を入れる前に、電源プラグがコンセントから外れていることを確認してください。
- アイロンを付属のベース（10）にのせた状態で水平にし、計量カップ（12）とジョウゴ（11）を使用してボイラーに給水してください（図 Fig. B）。
- 210cc（計量カップのMAXの目盛りまでの量）を超える量の水を決して入れないでください。ボイラーに過剰な水が入った場合、アイロンのかけ始めに、スチーム孔から水があふれたり、しぶきが噴出することがあります。
- 化学添加剤や芳香剤、石灰除去剤をボイラーに注入しないでください。こうした行為が行われた場合、保証は無効となります。
- ご使用後は、ボイラーを空にしてください。

アイロンがけの前に

安全キャップは、ボイラーの口にしっかりと締め込まれている必要があります。ただしこれは、無理な力を加えて締め込むということではなく、キャップの回転が終わったら、締まったことを確認する意味でさらに軽く力を加えるということです。無理にキャップを閉じると、パッキンが破損し、キャップから蒸気が漏れる恐れがあります。

スイッチの入れ方

- 電源プラグをコンセントに差し込んでから、電源スイッチをONにしてください（図 Fig. C）。
- パイロット・ランプ（5）の点灯は、アイロンが加熱中であることを示しています。
- ランプが消えるまで、4～5分お待ちください。
- これでアイロンの準備が整いました。

スチーム噴射

スチームには間欠噴射と連続噴射の2つの噴射方法があります。

- スチームを間欠噴射させるには、スチームボタン（4）をお好みの噴射量によって、強く、または軽く押すだけです（図 Fig. D）。
- スチームを連続噴射させるには、スチーム調整ダイヤル（2）を時計回りに回転させてください（図 Fig. E）。すると、安定したスチームが連続的に噴射されます。ダイヤルをさらに回せば、噴射はより強力になります。
- 自動噴射時も、スチームボタン（4）を最後まで押し込むことで、さらに強力な噴射を得ることが可能です。
- 間欠噴射および連続噴射時は、アイロンを逆さにしたり、前後左右に過度に傾けることは絶対に避けてください。



注意！

アイロンをベース（10）に戻す時は、スチームの噴射を必ず停止してください。

ご使用中の給水

ご使用中に給水が必要となった場合は、次の手順に従ってください。

- アイロンのスイッチを切る。電源スイッチ（7）を押す（図 Fig. C “O 位置”）。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- スチームボタン（4）を最後まで押し込み、内部の蒸気圧をゼロにする。
- ボイラーの安全キャップ（1）を外す。この際、付属のキャップ外し（3）をご使用になると、キャップを簡単にグリップすることができ、火傷の危険もなく、よりスムーズに作業することができます。
- ボイラーに少量の水を2～3度に分けて注ぎこみ、給水口から蒸気を排出させてから、通常通りボイラーに給水する。

※ご使用中のアイロンへの給水量は、蒸気が完全に排出された状態で、決して210cc（計量カップの満水目盛りまで）を超えてはいけません。過剰な給水を避けるために、給水前には必ずボイラーの水を空にしてください。

- 安全キャップを再び完全に締める。
- 電源プラグをコンセントに差す。
- しばらくすると、スチームの噴出が再び始まります。

ドライアイロンとしてのご使用

- まず、ボイラーに水が入っていないことをご確認ください。水が入っている場合は、スチーム調整ダイヤル（2）を反時計回りに最後まで回転させ、スチームが出ないようにしてください。

アリエーテ ご使用後の作業

- アイロンのスイッチを切る。電源スイッチ（7）を押す（図 Fig. C “O 位置”）。
- 電源プラグをコンセントから抜く。
- スチームボタン（4）を最後まで押し込み、内部の蒸気圧をゼロにします。
- アイロンが冷めるのを待ちます。
- キャップ外し（3）を使用して安全キャップ（1）を外し、ボイラーに残っている水を排出するために、アイロンを逆さまにします（図 Fig. F）。熱湯が飛びだしますので、ご注意下さい。このシンプルな排水作業によって、ボイラー内部を常に清潔な状態に保つことができます。
- ご使用後にアイロンを片づける時は、安全キャップ（1）を決して最後まで締め込まず、3～4回転分だけ締めるようにしてください。

アイロンの清掃

スチーム孔から水滴が明らかに漏れている場合、または、いずれにしても約3ヶ月ごとに、以下の清掃作業を行ってください。

かけ面の清掃

- 清掃の前に、電源プラグがコンセントから外れていること、アイロンが完全に冷めていることを確認してください。
- かけ面の清掃には、磨き粉やクレンザーを使用しないでください。
- かけ面についた汚れは、酢を混ぜた水をしみこませた布で取り除くことができます。
- 清掃の際、かけ面の滑らかな状態を保つために、金属製のもので傷をつけないようにしてください。

ボイラーの清掃

- 付属の計量カップを使用し、酢を4分の1カップ、蒸留水を4分の1カップ、ボイラーに注ぐ。
- きれいな水が出るまで、ボイラーを繰り返し水でゆすいでください。
- アイロンのスイッチを入れる。電源スイッチ（7）を押す（図 Fig. C “I 位置”）。
- アイロンを4～5分間放置する。アイロンを揺する。
- アイロンを10分間冷ます。スチームボタンを押し、ボイラーに残っているスチームを完全に出しきる。キャップを外し、ボイラーを空にする。

以上の作業を最低でも3カ月毎に1度行ってください。使用状況と使用する水の種類によっては、より頻繁に行ってください。